



この秋も、
お父さんと または 被災地・東北から避
難されてきた親子と
「ヤキイモ」を企画・開催
して下さる方を、募集します!

開催期間
2011年
11月～12月

先着
30カ所!

こんにちは!

私たちNPO法人ハンズオン!埼玉では、2005年から「おとうさんのヤキイモタイム」という父親の子育てを応援するキャンペーンを実施しています。

このキャンペーンは、ふだん仕事などで子どもとの時間がなかなかとれない、あるいは地域になじみにくいというお父さんたちが、ヤキイモを一緒につくことで、遊んだり、子育てや暮らしのことを話せるような機会を持てればいいね、という趣旨で行っています。埼玉県と県内各地のNPO・市民活動団体や保育所・幼稚園・保護者会・PTAなどが協働で実施しています。昨年度は、埼玉県内101カ所で「ヤキイモタイム」が開催され、約11,000人の方々にご参加いただきました。

この秋も、ひきつづき「おとうさんのヤキイモタイム 2011」と題して、ヤキイモの火をおこすことにいたしました。今年も①お父さんと一緒に焼き芋を企画・開催していただけるグループや施設を広く募集しています。また、今年度は②東日本大震災の影響で埼玉県内に避難されて来ている方（親子）との交流をすすめたいというグループや施設もあわせて募集しています。開催していただくグループには、1カ所あたり10kgのお芋（約30人分）を提供いたします。（ただし①については今年はずり初めての開催という場合に限りです。）

埼玉のあちこちで、煙と「おいしい!」という笑い声があがりますように、ぜひご協力をお願いいたします。ご連絡をお待ちしています!

まずは、お問い合わせください。（2～3ページをご覧ください）

企画運営・呼びかけ:

ハンズオン!埼玉 &
おとうさんのヤキイモタイム実行委員会

後援: 埼玉県

協力: 生活協同組合パルシステム埼玉
社団法人埼玉県労働者福祉協議会



①必ずご一読ください。

各地での開催にあたってのお願い(開催要項)

1 開催団体になっていただく場合をお願いしたいこと(=条件)は以下の3点です。

- (1)本事業の趣旨に賛同していただき、
- (2)地域や保護者のお父さんと一緒に、あるいは東日本大震災で県内へ避難されてきている親子の方々と、ヤキイモタイムを企画・開催してください。
(11月から1月の間に、誰でもが参加していただけるオープンな形でお願いします。)
- (3)開催結果を写真と簡単な文書でご報告いただきます。(WEBサイトに掲載します)

2 各地での開催方法は、各地の実施団体におまかせします。

経費の分担については、下記の通りお芋を一部ご提供させていただく他は、開催各地の責任でお願いいたします。(参加費等を徴収していただくことも可能ですが、実費程度でお願いいたします。)

- ・直火を使うことの行政による許可、周辺住民等の了解なども含め、開催にかかる必要な手続きや作業について、開催地ごとに責任を持っていただけるようお願いいたします。(地域によって事情は異なりますので、事務局までご相談ください。)
- ・参加者を募集するチラシなどの作成は、実施団体でお願いします。その際必ず「おとうさんのヤキイモタイム 2011参加事業」と記してください。

3 開催団体の資格はとくにありません。

幼稚園、保育所、公民館、児童館、子育て支援センターなどの各施設及び、おやじの会、保護者会、PTA、自治会、子ども会、市民活動団体、NPO、企業、労働組合、生協組合員活動など。また、個人の場合は、協力者を募って実行委員会形式で実施していただくようお願いいたします。

*下記のとおり、事務局から、ご提供させていただけるお芋は30ヵ所分です。先着順ですが、仲間作りという事業の主旨にそって、なるべく①お父さんが中心となって企画・開催されている場合(〇〇園パパの会、〇〇小おやじの会など)、②保護者会やPTA、市民活動団体など市民が主体となって企画されている場合、を極力優先させていただきます。施設での開催も、企画・運営をなるべくお父さんと一緒につくっていただける場合を優先して応援させていただきます。

4 開催にあたり事務局から各開催団体にご提供できるもの

- ・サツマイモ10kg(実施の7日前をめぐに発送いたします。)

原則として、今年度はじめてという開催地および、震災で避難されて来ている方々との交流をすすめる企画に限ってお送りします。

10kg
(約30人分)

生活協同組合パルシステム埼玉さんからのご寄付です。

5 開催団体になっていただいた場合の手順はつぎの通りです。

- ①まずは事務局にご連絡ください。
(右のページの「問い合わせシート」をご利用ください)
- ②開催場所と日時、参加の条件などを決定してください。
- ③開催要項の情報をご提供いただく
→当事務局のほうでWEBサイトに掲載します。
- ④開催日当日の様子を写真と簡単な文書で事務局までご報告ください →WEBサイトに掲載します。

○直火を使うには……開催場所などに関しては、行政の許可が必要な場所については許可をおとりください。また私有地であっても、環境に関する条例、規則等の法令に違反しないこと、近所に住む方々への働きかけなど、開催に必要な諸手続をお願いします。

ご不明な点などありましたら、事務局までご連絡ください。

連絡先： 特定非営利活動法人ハンズオン!埼玉・ヤキイモ係西川まで

電話・FAX 048-834-2052 携帯電話 090-3574-9794 メール info@yakiimoto.com

②ご連絡ください!

開催したい、または相談したいという場合、
下記、「問い合わせシート」に必要事項を記入いただき、
FAXまたはメールでお送りください。(ハンズオン!埼玉 担当西川までお願いします。)

③折り返し、ご連絡いたします!

問い合わせシート

FAX048-834-2052 (電話同じ:不在の場合、携帯 090-3574-9794まで)
メール **info@yakiimoto.com** まで

「ヤキイモタイム」を
開催します。 検討中です。 まずは相談したいです。 その他

開催目的 (両方の場合は両方にチェックしてください)

お父さんの仲間づくり・交流 避難してこられた親子との仲間づくり・交流

開催回数

今年がはじめての開催 過去に開催した

団体もしくは施設名 (有志の実行委員会による開催もOKです。)

ご担当者のお名前

ご住所 〒

電話 (ご担当者の方の)

FAX

メール

開催したい場所など (決まっていれば)
@

開催時期・日時 (決まっていれば)

その他ご質問など

事務局欄

--	--

こんにちは

この半年、いかがお過ごしでしたか？ 地震・津波そして原発・放射能と大変な半年でしたね。

3月、さいたまスーパーアリーナに福島から避難者のみなさんがいらしていると聞いて、わたしはハンズオン埼玉のメンバーも、アリーナにかけつけました。それから二週間、ボランティアセンターのスタッフとして、避難者のみなさん向けの情報を発信したり、福玉ボード（福島と埼玉の人が声を掛け合って一緒にかけたメッセージボード）をつくったりしました。そのあとも、ときどき加須市の旧騎西高校にうつられた双葉町のみなさんをたずねて（小さなちやぶ台を持ち込んで）お茶会をしたり、避難者向けの電話相談のお手伝いをしたり、わたしたちなりにできることを考えて、少しずつつてきました（あまり役にはたっていないのですが）。

この夏には、ふたたびアリーナのけやき広場で、県内の避難されている福島の人たちが集まるための夏祭りのお手伝いをしました。その時、富岡町から2歳の娘さんと春日部に避難して来ているというお母さんと出会いました。

「夫は仕事で福島にいます。故郷の人に会えるこういう大きなイベントもうれしいですが、いま住んでいる家の近所の方と小さなお茶会とかができたらいいんですが……。」
実は、この日、このお母さんと同じような声を何人もの方から聞きました。

それで、あらためて、私たちができることはなんだろう、とハンズオンのメンバーやヤキイモタイムと一緒にやってきたお父さんたちと話し合いました。

「たぶんうちのまちにもいらつしやるだろうけど、なかなか出会える機会がないよね」
「新しくおとなりさんになった方と、いっしょに焼き芋をホクホクできたらいいな」

「お父さんたちといっしょに火の番をすることかできたらいいね……」
なんて話しているうちに、気付いたらお芋の匂いに包まれる気持ちになってきました。

だから、できることなら今年の秋も、
「おとうさんのヤキイモタイム」

たき火が無理なら、しちりんタイム、焼きおにぎりタイム、鍋タイム、サンドイッチタイム……!!
もともと「おとなりさんとなかなか話す機会ってないよね」ってことではじまったのがこのヤキイモタイムキャンペーン。支援するとかされるとかかっていうより、お互い出会えてよかったって思える時間をもてるといういいですね。

一緒にやりませんか。ご連絡おまちしています。

二〇一一年九月

ハンズオン！埼玉

埼玉県内に避難してきている方は、最大時で7000人といわれています。乳幼児から小学生までのお子さんとその親ごさんの割合も多く、それぞれ民間のアパートなどに入って、慣れない土地で、飯の、あるいは新しい暮らしをはじめていらっしゃるようです。避難所では届いていた情報や物資も、なかなか届かない、先の見通しも見えない、言葉も習慣も違う、というなかで、しんどい思いをしている方もまだまだ多いようです。

二年前にヤキイモタイムキャンペーンで知り合った狭山の山田さんからこんなメールをいただきました。

四月にうちの子が通う小学校に、南相馬から転校生が来たんです。PTAの用事で、引越してきたそのYさんのお宅を訪ねたら、Yさん夫妻は堰を切ったように、溜まっていた想いを何時間も話してくださいました。

で、ふと思立って、Yさんを小学校の保護者有志でつくる「おやじの会」に誘ってみました。そしたら、しばらくしてYさんから「入会します」というメールが来ました。

うれしくて、さっそく毎週やっている夜のパトロールのあと歓迎会をしたんです。

Yさんは『お酒なんて飲むのは本当に久しぶりです』といいながら、津波で水浸しになったご自宅の写真を携帯電話で見せてくださいました。普段は騒いで飲むばかりのおやじたちも、珍しく静かにYさんの話を聞いて……でもしばらくして、やっぱり仲間が増えたことがみんなうれしくて、またいつものようにわいわい

盛り上がり始めたんです。するとYさんもだんだん目尻が下がってきて、すごくいい表情をされていたんですね。

僕たちおやじの感覚としては「被災者支援」というより、たまたま近くに新しいご家族が引越して来られたので、ごく当たり前の「近所付き合い」を今まで通りみんなで始めた、という感じですかね。

確かにYさん一家にとっては、望まざる引越しだったと思います。地震も原発事故も不幸な出来事ですが、でも、こうした出会いまでも不幸とは考えたくない。せつかく出会えてお互いの日常が重なり合ったんだから、ささやかでも笑いあって、心のなごむ瞬間と一緒に過ごしたいですね。

狭山市御狩場小学校おやじの会 山田孝文



企画運営・事務局

NPO 法人
ハンズオン！埼玉

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂 2-10-6
TEL/FAX :048-834-2052

市民自身によるまちづくりを進めることを目指して、NPO・市民参加型プロジェクト/まちづくりの推進に関する調査研究・情報発信・講座の企画、マネジメント支援、講師の派遣などを行っている市民団体です。